

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 瀬戸山英児 TEL 03-6866-0276
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,756	6.6	73	-	130	108.0	138	213.6
2022年3月期	3,523	9.1	△58	-	62	-	44	-

(注) 包括利益 2023年3月期 △4百万円 (-%) 2022年3月期 △79百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	80.49	-	6.3	3.0	2.0
2022年3月期	25.66	-	2.0	1.4	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,220	2,215	52.5	1,284.69
2022年3月期	4,390	2,220	50.6	1,287.41

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,215百万円 2022年3月期 2,220百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	95	△82	△146	1,357
2022年3月期	235	△36	△12	1,491

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00	43	31.1	1.9
2024年3月期 (予想)	-	0.00	-	40.00	40.00		34.5	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,712	103.3	△101	-	△73	-	△43	-	△24.92
通期	3,923	104.5	143	195.9	182	140.0	200	144.9	115.94

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 79期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 79期末自己株式数
③ 79期中平均株式数

2023年3月期	1,804,471株	2022年3月期	1,804,471株
2023年3月期	79,568株	2022年3月期	79,405株
2023年3月期	1,725,029株	2022年3月期	1,725,115株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	220	△3.8	△22	-	106	253.3	106	253.3
2022年3月期	229	△15.5	△54	-	30	-	30	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	61.79	-
2022年3月期	17.85	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	3,344	2,247	67.2	1,303.24
2022年3月期	3,502	2,285	65.3	1,324.97

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,247百万円 2022年3月期 2,285百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期(百万円)	3,756	73	130	138
2022年3月期(百万円)	3,523	△58	62	44
前期比(%)	106.6	—	208.0	313.6

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加する場面が見られましたが、経済活動はウィズコロナの流れの中で、徐々に落ち着きを取り戻しました。このような中で個人消費はインバウンド再開が加わる中で堅調な動きとなりましたが、海外の高インフレと海外の金融引き締めによる円安の進行や国際市況の上昇などの影響で、回復ペースが鈍化しました。

小売業界におきましては、日用品は節約ムードが高まる一方、高額品の販売が好調となるなど二極化が進みました。

このような環境の中で当社グループは、婚礼などのイベントの再開や在宅勤務の減少など、徐々に日常生活に戻るのに伴いスーツの買い替え需要の高まりを受けて、全般に業績は順調に推移しました。

また、販売部門を強化すべく2023年3月に大阪淀屋橋店(大阪府中央区)と神田淡路町店(東京都千代田区)の2店舗を新規開店いたしました。一方製造部門は福岡工場におきまして、サステナビリティに配慮した空調機器やLED照明の設備投資を行いました。

この結果、製造部門は引き続き2工場体制のままですが、店舗につきましては、(株)ウイングロードが、bref新宿店の退店及び大阪本町店を(株)銀座山形屋トレーディング西日本の管轄とした一方、2023年3月に神田淡路町店を出店したことにより24店舗、(株)銀座山形屋トレーディング西日本が大阪本町店を管轄とした他、2023年3月に大阪淀屋橋店の出店により3店舗となり、計27店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は37億56百万円(前年同期比6.6%増)と前連結会計年度を上回り、売上総利益につきましては21億16百万円(前年同期比8.8%増)と前連結会計年度を上回りました。また営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が20億42百万円となった結果73百万円(前年同期は58百万円の営業損失)となりました。

経常利益につきましては、1億30百万円(前年同期比108%増)となりました。また親会社に帰属する当期純利益は1億38百万円となりました。

事業別売上状況

(小売事業)

小売事業につきましては、徐々に経済活動が日常に戻る中で、結婚式等のイベント用のフォーマルスーツの需要や新型コロナ禍の消費抑制の反動増などもあり、順調に推移しました。

(卸売事業)

卸売事業につきましては、一部地方におきまして夏場の新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加により、展示会の延期や中止の動きが見られ、やや苦戦いたしました。

(受託縫製事業)

小売事業と同じく、受託先の販売が好調となったことに加え、海外工場において納期の遅れが見られたことから、国内工場を持つ当社への受注が増加して、年度間通じて順調に推移しました。

事業別売上高

(単位:千円)

区 分	第78期(前期) 2022年3月期		第79期(当期) 2023年3月期		前年同期比
小 売 事 業	2,030,717	57.6%	2,236,525	59.5%	110.1%
卸 売 事 業	914,173	26.0%	923,173	24.6%	101.0%
受 託 縫 製 事 業	574,479	16.3%	592,595	15.8%	103.7%
そ の 他	4,320	0.1%	4,070	0.1%	94.2%
合 計	3,523,690	100.0%	3,756,363	100.0%	106.6%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1億69百万円減少し、42億20百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して1億18百万円減少しました。主に現金及び預金が減少したものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して51百万円減少しました。主な要因は投資有価証券の評価額が減少したものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して1億64百万円減少し20億4百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加したものであります。

純資産の部においては、減資により資本金が26億27百万円減少し、その他資本剰余金が21億88百万円および利益剰余金が5億77百万円増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益1億38百万円の結果により、当連結会計年度末の株主資本は、前連結会計年度と比較して1億38百万円の増加となりました。

また、その他有価証券評価差額金は1億43百万円の減少でありました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は13億57百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは95百万円の収入となりました。これは税金等調整前当期純利益1億20百万円及び減価償却費50百万円の計上をした一方で、未払消費税等の減少による支出51百万等があった事によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは82百万円の支出となりました。これは主に店舗改装や照明のLED化のための設備投資等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億46百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

(4) 今後の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (親会社株主に帰属 する当期純利益)
2024年3月期 (百万円)	3,923	143	182	200
2023年3月期 (百万円)	3,756	73	130	138
前期比 (%)	104.5	195.9	140.0	144.9

今後の見通しにつきましては、資源価格の動向が引き続き国内外の経済活動に影響を及ぼすと考えられる上に、国際的な政情不安による為替・物価への影響なども懸念され、不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況のもと当社グループは、引き続き付加価値の高い3ブランドの店舗展開を進めてまいります。また、受注により製造販売を行うオーダーメイドスーツは廃棄処理の多いアパレル業界におきまして、廃棄物の少ないビジネスモデルであると考えており、今後より一層サステナビリティを意識した業務運営を実施してまいります。

更にお客様に再度ご利用いただけるよう、素材特性や採寸技術などの研修に力をいれてまいります。そして、「1客1客・1着1着」を大事に取り組む企業基盤を構築し100%のリピートオーダーに繋げてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準を採用することとしております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,491,896	1,357,948
受取手形及び売掛金	—	—
受取手形	46,586	47,542
売掛金	337,798	349,108
商品及び製品	106,436	127,446
仕掛品	19,766	19,320
原材料	91,464	73,294
その他	74,069	75,695
貸倒引当金	△2,304	△2,811
流動資産合計	2,165,713	2,047,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	831,769	891,518
減価償却累計額	△727,256	△732,529
建物及び構築物(純額)	104,512	158,988
機械装置及び運搬具	799,877	818,095
減価償却累計額	△773,113	△785,053
機械装置及び運搬具(純額)	26,764	33,042
工具、器具及び備品	90,894	96,184
減価償却累計額	△82,902	△84,909
工具、器具及び備品(純額)	7,992	11,275
土地	137,755	137,755
リース資産	7,000	7,000
減価償却累計額	△7,000	△7,000
リース資産(純額)	—	—
有形固定資産合計	277,025	341,062
無形固定資産		
ソフトウェア	76,761	54,440
電話加入権	2,243	2,243
無形固定資産合計	79,004	56,684
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177,544	1,066,849
敷金及び保証金	551,084	561,005
繰延税金資産	8,405	13,746
その他	131,962	134,530
貸倒引当金	—	△493
投資その他の資産合計	1,868,997	1,775,638
固定資産合計	2,225,027	2,173,385
資産合計	4,390,741	4,220,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,513	144,781
1年内返済予定の長期借入金	138,066	197,136
リース債務	8,650	4,050
未払金	75,651	102,497
未払法人税等	21,703	12,431
未払消費税等	96,338	44,770
その他	349,763	359,689
流動負債合計	830,687	865,357
固定負債		
長期借入金	481,934	284,798
リース債務	6,184	2,090
繰延税金負債	26,643	29,321
役員退職慰労引当金	110,152	117,152
退職給付に係る負債	510,920	502,412
資産除去債務	193,190	192,520
預り保証金	10,160	11,310
固定負債合計	1,339,185	1,139,605
負債合計	2,169,873	2,004,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	100,000
資本剰余金	-	2,188,805
利益剰余金	△504,514	73,084
自己株式	△81,495	△81,624
株主資本合計	2,141,551	2,280,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,316	△64,298
その他の包括利益累計額合計	79,316	△64,298
純資産合計	2,220,867	2,215,966
負債純資産合計	4,390,741	4,220,930

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高		
製商品売上高	3,072,417	3,256,052
受託加工売上高	451,272	500,311
売上高合計	3,523,690	3,756,363
売上原価		
製商品売上原価	1,229,422	1,273,623
受託加工売上原価	348,579	366,222
売上原価合計	1,578,002	1,639,846
売上総利益	1,945,688	2,116,517
販売費及び一般管理費		
販売手数料	65,293	72,392
広告宣伝費	57,967	66,446
給料及び手当	843,287	814,953
退職給付費用	45,754	40,935
減価償却費	32,569	32,558
賃借料	372,313	366,405
その他	586,616	648,853
販売費及び一般管理費合計	2,003,802	2,042,545
営業利益又は営業損失(△)	△58,114	73,971
営業外収益		
受取利息	89	85
受取配当金	32,699	32,001
受取手数料	9,655	838
助成金収入	57,268	12,996
雑収入	27,498	16,985
営業外収益合計	127,210	62,906
営業外費用		
支払利息	4,336	3,631
業務委託費	1,961	2,585
雑損失	74	200
営業外費用合計	6,372	6,416
経常利益	62,724	130,461
特別損失		
減損損失	23,208	10,096
特別損失合計	23,208	10,096
税金等調整前当期純利益	39,515	120,364
法人税、住民税及び事業税	11,927	16,898
法人税等調整額	△16,684	△35,377
法人税等合計	△4,756	△18,478
当期純利益	44,272	138,843
親会社株主に帰属する当期純利益	44,272	138,843

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	44,272	138,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124,019	△143,614
その他の包括利益合計	△124,019	△143,614
包括利益	△79,746	△4,771
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△79,746	△4,771

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	2,727,560	-	△541,043	△81,430
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	△7,742	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,727,560	-	△548,786	△81,430
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	44,272	-
自己株式の取得	-	-	-	△64
減資	-	-	-	-
欠損填補	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	44,272	△64
当期末残高	2,727,560	-	△504,514	△81,495

	株主資本	その他の包括利益累計額		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,105,086	203,335	203,335	2,308,421
会計方針の変更による累積的影響額	△7,742	-	-	△7,742
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,097,344	203,335	203,335	2,300,679
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	44,272	-	-	44,272
自己株式の取得	△64	-	-	△64
減資	-	-	-	-
欠損填補	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	△124,019	△124,019	△124,019
当期変動額合計	44,208	△124,019	△124,019	△79,811
当期末残高	2,141,551	79,316	79,316	2,220,867

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	2,727,560	-	△504,514	△81,495
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,727,560	-	△504,514	△81,495
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	138,843	-
自己株式の取得	-	-	-	△129
減資	△2,627,560	2,627,560	-	-
欠損填補	-	△438,755	438,755	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	△2,627,560	2,188,805	577,598	△129
当期末残高	100,000	2,188,805	73,084	△81,624

	株主資本	その他の包括利益累計額		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,141,551	79,316	79,316	2,220,867
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,141,551	79,316	79,316	2,220,867
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	138,843	-	-	138,843
自己株式の取得	△129	-	-	△129
減資	-	-	-	-
欠損填補	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	△143,614	△143,614	△143,614
当期変動額合計	138,713	△143,614	△143,614	△4,901
当期末残高	2,280,265	△64,298	△64,298	2,215,966

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	39,515	120,364
減価償却費	52,085	50,993
減損損失	23,208	10,096
助成金収入	△57,268	△12,996
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,606	1,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,260	△8,507
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,782	7,000
受取利息及び受取配当金	△32,788	△32,086
支払利息	4,336	3,631
売上債権の増減額 (△は増加)	5,171	△12,760
棚卸資産の増減額 (△は増加)	62,199	△2,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,712	4,268
未払金の増減額 (△は減少)	△13,950	△857
未払消費税等の増減額 (△は減少)	87,993	△51,567
未収消費税等の増減額 (△は増加)	25,807	△17,155
前受金の増減額 (△は減少)	△21,535	11,118
預り金の増減額 (△は減少)	△14,959	△17,996
その他	△18,830	39,543
小計	152,569	91,696
利息及び配当金の受取額	32,788	32,086
利息の支払額	△4,336	△3,631
法人税等の支払額	△2,769	△37,596
助成金の受取額	57,268	12,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,519	95,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,836	△74,204
無形固定資産の取得による支出	-	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△1,308	△442
投資有価証券の売却による収入	-	319
差入保証金及び敷金の預入による支出	△4,029	△15,508
差入保証金及び敷金の返還による収入	15,075	10,386
その他	△2,354	△2,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,454	△82,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△138,066
自己株式の取得による支出	△64	△129
配当金の支払額	△43	△3
リース債務の返済による支出	△12,031	△8,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,139	△146,893
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	186,927	△133,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,969	1,491,896
現金及び現金同等物の期末残高	1,491,896	1,357,948

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、持株会社としてグループ全体の戦略を担い、子会社7社は「小売事業」「卸売事業」「受託縫製事業」を展開しております。

「小売事業」は、主に店舗等においてオーダー紳士・婦人服、カジュアル洋品の小売販売を行っております。「卸売事業」は、主にオーダー紳士・婦人服の卸販売を行っております。「受託縫製事業」は、主に紳士・婦人服の受託縫製加工・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同様であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,030,717	914,173	574,479	3,519,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,287,096	1,287,096
計	2,030,717	914,173	1,861,575	4,806,466
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△16,434	△811	13,229	△4,015
セグメント資産	745,661	615,990	792,459	2,154,111
その他の項目				
減価償却費	5,063	-	15,275	20,339
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,790	-	9,918	30,708

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,236,525	923,173	592,595	3,752,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,455,497	1,455,497
計	2,236,525	923,173	2,048,092	5,207,791
セグメント利益又はセグメント損失(△)	66,766	△16,016	47,137	97,887
セグメント資産	746,846	584,000	806,125	2,136,973
その他の項目				
減価償却費	4,650	-	15,462	20,113
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	57,664	-	35,551	93,216

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
報告セグメント計	4,806,466	5,207,791
セグメント間取引消去	△1,287,096	△1,455,497
全社収益	4,320	4,070
連結財務諸表の売上高	3,523,690	3,756,363

(単位:千円)

利益	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
報告セグメント計	△4,015	97,887
棚卸資産の調整額	416	△1,879
その他の調整額	-	-
全社収益(注1.)	229,290	220,526
全社費用(注2.)	△283,804	△242,562
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△58,114	73,971

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
報告セグメント計	2,154,111	2,136,973
その他の調整額	△1,057,025	△1,028,719
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△208,376	△232,093
全社資産 (注)	3,502,032	3,344,769
連結財務諸表の資産合計	4,390,741	4,220,930

(注) 全社資産は、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等です。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	20,339	20,113	31,745	30,879	52,085	50,993
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	30,708	94,216	1,651	8,697	32,359	102,914

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	オーダー 紳士服	オーダー 婦人服	既製洋品	その他	合計
外部顧客への売上高	2,851,663	299,532	368,171	4,320	3,523,690

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	オーダー 紳士服	オーダー 婦人服	既製洋品	その他	合計
外部顧客への売上高	3,063,942	298,319	330,865	63,238	3,756,363

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	全社・消去	合計
減損損失	22,994	-	214	-	23,208

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	全社・消去	合計
減損損失	10,096	-	-	-	10,096

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,287円41銭	1,284円69銭
1株当たり当期純利益	25円66銭	80円49銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益及び1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	44,272	138,843
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	44,272	138,843
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,725	1,725

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,220,867	2,215,966
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,220,867	2,215,966
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	1,725	1,725

(重要な後発事象)

該当事項はありません。